

あづみ野穂高 道祖神めぐりマップ



旧保高宿コース
所要時間: 約90分
距離: 約2km
A ~ H

田園コース
所要時間: 約120分
距離: 約5km
I ~ S

わさび田
ます地
にじます養殖場

早春賦歌碑
「春は名のみの風の寒さや」で始まる、唱歌・早春賦。穂高川沿いに建てられた歌碑の横には、ソーラー電池式のオルゴールが設置され、いつでもそのメロディを聞く事ができます。

道祖神とは...
日本に古来からあった、生産、生殖の神として、五穀豊穡や子孫繁栄、縁結びの願いをかけたものといわれます。また、村に悪いものが入るのをさえぎる護りの神ともいわれます。

二十三夜塔とは...
月齢23の月の日(二十三夜)に「講」(集い)を組織した人々が集まって、月の出を待つ月行事「月待」にまつわる塔。

大黒天とは...
福を授ける神として信仰される七福神のひとつ。甲子の日に皆が集まって福の来ることを祈願しました。(甲子講)

庚申塔とは...
庚申信仰に基づいて建てられた石塔のこと。庚申の日、寝ている間に体内にいる「さんしの虫」が天帝に悪事の報告をするのを防ぐため、夜通し眠らず集団でにぎやかに過ごす信仰。

馬頭観世音とは...
観世音菩薩の化身で、煩惱や悪心を断つ功德があるといわれます。馬頭ということからか、馬の神様として崇められ、馬が死ぬと供養のために石造や文字塔が建てられたり、運送業者や馬持仲間が馬の無病息災を願ってこれを建てました。

塩の道 道祖神とは...
新潟県糸魚川まで続く「塩の道」であった千国街道には、沢山の道祖神が祀られていました。その後、過疎化が進んで取り残されてしまった街道沿いの道祖神は、由緒深い穂高神社へと移され、現在は「塩の道 道祖神」として10体ほど祀られています。

